

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月 24日

事業所名 そらの木学園 谷六教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		子どもの人数が多くなりすぎないように調整しています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		子どもが多い時間帯には常時4人以上の体制にしております。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		時間割や一日の流れなど視覚的に確認、見直しになるよう掲示しております。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		スタッフ間の話し合いの中で振り返り、次どういう対応をしていくかを行っています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		ご意見をスタッフ間で共有しています。	弊所独自のアンケートを使用することで保護者の方の意向をお聞きする機会を作りたいと思います。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在導入できておりません。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		支援の根本的な部分で必要なことから、研修させていただいております。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		変更したい点等が発生したときは、いつでもお伝えいただける旨を契約時にお伝えしております。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフ間で共有検討しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		スタッフ間で共有検討しています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		休日ではなく、コースや各個別に必要な課題によって支援しております。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○	その時によって共有のタイミング(朝・夕方)が変わる場合もあります。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	その時によって共有のタイミング(朝・夕方)が変わる場合もあります。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	学校との連携が、現在主に不登校の方の場合となっています		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在必要な子どもが在籍しておりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		現在必要な子どもが在籍しておりません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		現在要望のある方が在籍しておりません。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		現在必要な子どもが在籍しておりません。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		子ども部会に参加しております。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		○	様子や対人の関わりで気になる点があれば、ご連絡するようにしております。	フリースクールコースの場合、内容が聞こえてしまうため、共有の機会が少ないことがあります。入口ドアを開めるなどして、共有させていただきたいと思います。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		アンケートを導入し、興味のある方がいれば支援をしていきたいと思っています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		気になる点等申し出があれば、モニタリング以外にも面談の機会を設けています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		昨年は開所したばかりで難しかったですがアンケートを導入し、興味のある方がいれば保護者会を実施したいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		気になる点等申し出があれば面談の機会を設けています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		チラシでのご連絡や、インスタグラムで発信しています。	インスタについての発信についてのご説明をしていきたいと思っています。また、大卒の年間行事予定表も導入予定です。
	35	個人情報に十分注意している	○			タブレットやパソコンなど、個人情報が見えないようにしています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		総合学習などの活動を導入し、公園の清掃など地域に触れる機会を検討していきたいと思っています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		契約時に行っています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			マニュアルをもとに、訓練しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に行っています	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		お話でのお伝えはあるものの、個別支援計画に記載がないものもあったため、改めて記載してまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	保護者の方へ聞き取り、気を付ける体制になっています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			